

平成 1 2 年度継続事務事業目的評価表

[事務事業名]

[対応する予算細事業目]

[評価年月日]

[担当課長名・G 名・記入者名・電話]

評価表を作成した事務事業名、担当課長名、記入者名、連絡先を記入しています。

[総合計画の政策体系上の平成 12 年度位置づけ]

政策：(—)

施策：()

基本事務事業：()

当該事務事業について「新しい総合計画（第 2 編第 2 章）の政策展開の基本方向（5 本柱）」に基づく政策体系上の位置づけを記入しています。

[総合行政課題の平成 12 年度位置づけ]

重要課題：()

プログラム：()

関連している「新しい総合計画（第 2 編第 3 章）の総合行政課題（八つの重要課題と 19 のプログラム）」を記入しています。

1 D O 平成 12 年度事務事業の目的と実績

1-(1) 事務事業の目的

①上位目的である基本事務事業の意図（事務事業の結果）

平成 12 年度基本事務事業から見た事務事業の位置づけ

基本事務事業の成果向上への貢献度合、効果発現までの期間、

②対象（何、誰を対象に）：

③意図（対象をどういう状態にしたかったのか）：

上位の基本事務事業の意図や基本事務事業の中での位置づけ、事務事業の対象、意図、意図の指標を記入しています。
意図の指標はこの事務事業の意図を明確にするために式で表しています。そのため、数値化できなくてもよい、としています。

意図の指標（指標名＝指標式）→必ずしも数値化できなくてもよい

1-(2) 目的達成のための具体的な手段（実施した事務事業の内容）

12 年度に行った事務事業の内容を記入しています。

県が関与する根拠を示しています。

1-(3) 公共関与の根拠：

1-(4) 県の関与の根拠：

1-(5) 事務事業の種類： 自治事務 法定受託事務

1-(6) 根拠法令：

2 指標、コストの年度比較

2-(1) 事業目標指標（複数設置、(*)は総合計画の目標値、(単)は単年度だけの設定）

<注>指標Aは、意図の指標で数値化できるもの、又は意図の指標に最も関連しているもの

◇指標A名：

H13年度目標値の設定理由：

◇指標B名：

H13年度目標値の設定理由：

◇指標C名：

H13年度目標値の設定理由：

事務事業の目的（意図）を達成するための要因を事業目標指標として、所属長と担当者が議論して設定しています。

事務事業の目的（意図）の達成には複数の要因が関係していることから、複数設定されています。

		平成11年度	平成12年度	平成13年度	計画目標年次 (平成 年度)
指標A	目標				
	実績				
指標B	目標				
	実績				
指標C	目標				
	実績				
予算額等					
所要時間					
必要概算コスト					

各指標の目標、実績について表に取りまとめています。
事務事業の各年度の予算額と所要時間に平均単価を乗じたものから概算コストを算出しています。

2-(2) H13年度事務事業の負担区分

事業費ベースと予算ベースの負担者と負担割合を記入しています。

2-(3) 事業実施に伴い後年度生じると思われる負担

事務事業を行うことによって生じると考えられる負担について記入しています。

3 CHECK 2のデータ分析を踏まえた平成12年度事務事業の評価～成果と課題～

3-(1) 事業内容についての成果と課題

①手段(計画に対して事務事業の内容や量はどうか)

12年度の実施内容を振り返って、計画と実績の乖離を分析し、内容や活動量についての成果と課題を記入しています。

②実施プロセス(着手時期、運び方、地域機関との連携、市町村との連携はどうか)

事業の着手時期や進め方などについて、結果と課題が記入されています。また、市町村や地域機関との連携や意見交換などの結果や成果について記入しています

③県民(事務事業の対象者や関係者等)との協働(協働や対応はどうか)

事務事業の対象者や関係者との協働の観点からみた成果と課題を記入しています。

④上記①～③以外の独自の項目(自由設定)

項目：

事務事業の特性・特徴に応じた評価項目がある場合には、独自の項目として設定し、評価して記入しています。

3-(2) 政策体系の視点からの成果と課題(事務事業の意図は達成できたか。基本事務事業の成果に貢献できたか)

事務事業の目的(意図)がどのように達成でき、また課題が残ったかを記入しています。また上位の基本事務事業の目的にどのように貢献し、課題が残ったのかも記入しています。

3-(3) 総合行政の視点からの成果と課題(重要課題・プログラム、事業グループ、その他事業間調整はどうか)

「新しい総合計画(第2編第3章)の総合行政課題(八つの重要課題と19のプログラム)」から見た成果と課題を記入しています。

4 ACTION PLAN 評価を踏まえた平成13年度事務事業への反映

4-(1) 平成13年度事務事業の概要

①対象：

②目的達成のための具体的な手段（実施する事務事業の内容）

予算要求時点での事務事業の内容が記入されています。
13年度廃止、休止している場合はその理由なども記入しています。

4-(2) 3の評価結果を踏まえた改善点や留意点（予算内容の変更も含めた思い切った見直しを記入しても構わない）

3の評価欄で明らかになった課題に対してどう改善するのか、また、評価結果を踏まえて、事務事業を実施していく上での留意点を記入しています。

5 PLAN 平成14年度以降に向けた改革方向

5-(1) 今後の環境変化の予測

この事務事業に影響を及ぼすと考えられる今後の環境変化の予測を記入しています。

5-(2) 平成14年度以降のこの事務事業のあるべき姿

事務事業の有るべき姿、将来像について記入しています。
また、14年度以降も取り組むべき課題や改革方向について記入しています。